

# 高 出水商業高校 PTAだより

第69号  
令和5年2月28日発行  
出水市立出水商業高等学校  
出水市明神町200番地  
TEL 0996-67-1069

生徒数…397人  
職員数…45人  
P戸数…376戸



PTA会長  
西園 俊弘

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。  
また、保護者の皆様におかれましても、お子様が立派に成長され卒業を迎えられたこと、大変喜ばしく感動されていることと思います。さて、卒業生の皆さんは、コロナ禍の中で入学し、卒業されるまでコロナウイルスに悩まされてしまいましたね。学校行事や授業の縮小や中止、部活動においては試合の中止や延期、練習も十分にできないなど、かなり不自由な学校生活だったと思います。ただ今年

はウイズコロナということ、保護者来場の制限があったものの体育祭が開催され、3年ぶりに地域の人々へ開いた形で出商パートが行われ、修学旅行やいろいろな行事が少しずつではありますが戻ってきました。やはり生徒の皆さんと校長先生をはじめ先生方そして保護者の方々が開催にむけ努力した成果ではないでしょうか。いま卒業生の皆さんの胸中は卒業する喜びと就職・進学することへの不安で溢れていることと思います。社会に出れば想像以上の困難があります。私自身も幾つもの壁にぶつかり、くじけそうになったことが何度もあります。そんな時は焦らず、立ち止まって考えてみることも大切です。このコロナ禍を乗り越えた皆さんなら困難に打ち勝って頑張っていけると思っています。

そして上ノ町校長先生をはじめ先生方におかれましては、生徒達を温かく見守り、時には厳しく指導して正しい道を示していただいたこと保護者を代表して感謝申し上げます。また今年度PTAを卒業される保護者の皆様、これまでPTA活動にご協力いただきました本当にありがとうございます。今後もPTA活動の先輩に、行事等について相談することもあるかと思えます。その際には出水商業高校発展のためご教示のほどよろしくお願ひ申し上げます。最後に皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 商業デパート PTAバザー



3年ぶりに地域に開放された商業デパート。会員で協力してPTAバザーも開催でき、多くの人に足を運んでいただきました。コロナ禍を乗り越え、これからも子供のために協力していきましょう。

## 夜明け前



校長  
上ノ町 久

令和四年度の卒業生及び保護者の皆様方、高等学校卒業の時を迎え、晴れやかなお気持ちのこととお察しいたします。誠にありがとうございます。この日を迎え、それぞれに数多くの思い出が、走馬灯のように浮かんでくるのではないのでしょうか。それらはおそらく楽しいことばかりではなく、苦しかったことや辛かったことが多くあります。しかしそれは様々なことに挑戦し、苦悩しながら成長した証です。これからは多くのことを経験すると思えますが、逃げずに正面から挑んでください。

卒業生の皆さんにとっては、入学してすぐに学校が臨時休校となり、それから三年間新型コロナウイルスに翻弄され、不安な中で高校生活だったと思えます。修学旅行は実質卒業旅行となり、つい先日終了しました。学校行事の中止や規模縮小、部活動の大会中止など、思いもよらないことを経験し、大変辛い思いをしたことでしょう。本来なら高校生活は「密」のはずですが、マスク越しで会話をし、人と人との距離「ソーシャルディスタンス」を求められ、楽しいはずの昼食の時間も黙食を強いられました。しかし皆さんはその苦難の中で、上位資格取得への挑戦や工夫を凝らした各々学校行事の実施、部活動や地域行事への参加など、すべてに真心を込めて打ち込んでいました。このことはこれからの人生を歩む上で、貴重な財産となることでしょう。人類はこのような経験を過去何度も乗り越え、「今」を生きてい

ます。皆さんの「命」は、過去から幾多の試練を乗り越え、連続とつながっています。与えられた「命」を大切に生きてください。世のため、人のためになる「命」の使い方、自分の人生の「使命」をしっかり果たしていくことを期待しています。

保護者の皆様方には、この三年間本校教育活動に對しまして、多大なご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。コロナ禍でPTA活動にも様々な影響がありました。PTA総会の書面開催や「出商デパート」での餅つき、餅投げや食物バザーの中止など、保護者と一体となって学校運営を進めていくことに多くの制限が生じ、残念な思いをいたしました。しかし、おかげをもちまして、無事卒業生の進路決定100%を達成でき、この晴れの日を皆様と一緒にお祝いすることができました。高等学校卒業とは、子育ての二つの区切りと言えるかもしれません。保護者の皆様にも「子育て卒業証書」を授与したい気持ちです。本当に今までお疲れ様でした。大人へと旅立つ我が子の背中をそっと押す時となり、寂しい気持ちもあると思えますが、心からの後押しをお願いします。

さて最後に、晴れの門出に言葉を送りたいと思えます。それは教育者で伝説の小学校教諭と言われた東井義雄さんの「太陽は、夜が明けるのを待って昇るのではない。太陽が昇るから夜が明けるのだ。」という言葉です。これは「自ら行動しないで夜明けを待っていてもやってこない。しっかりと目標を定めて、自らが行動することによって境界が開けていき、初めて人生やその途上の苦難の夜明けがもたらされる」という意味です。

これからの人生を輝きのある豊かなものにしていくために、自ら動き出すことが大切です。「できるか、できないか」でなく、あなた自身が「やる」と決断して、自ら行動する人生を歩んでください。皆様方が乗り越えたい人生を力強く歩むことを祈念してお別れの言葉といたします。

## 朝のあいさつ運動



商業生とじかに声をかけ合う時間になりました。地域でも、ぜひ明るいあいさつを交わしましょう。



3年1組



3年3組



## 体育祭 クラス写真

3年2組



3年4組



3年生が入学した2020年4月、世の中は緊急事態宣言が出されました。マスクでお互いの顔も見えないスタートでしたが、生徒はこの3年間を、共に笑い共に悩み、懸命に走り抜けました。





